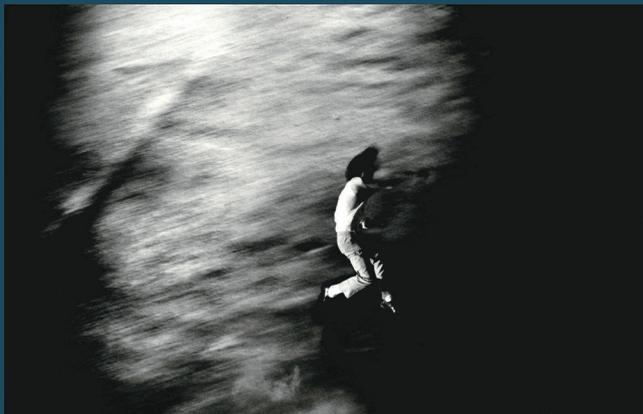




かるかる

2018年 **12**月 vol.279



東松照明「プロテスト1 東京 新宿」1969 The Petch Osathanugrah Collection
©Shomei Tomatsu-INTERFACE

五〇年前、日本の若者が、

1968年 激動の 時代の 芸術

1968: Art in the Turbulent Age



赤瀬川原平「大日本零円札」1967 千葉市美術館

激動の68年
1968年の
現代美術
越える
新世代の
台頭の

北九州市立美術館分館

沸いた。

2018年12月1日(土)～2019年1月27日(日)

【会期中無休】 ※ただし、12月28日(金)～1月3日(木)は年末年始休館
※会期中、一部展示替えがあります[前期:～12月27日(木)/後期:1月4日(金)～]
10:00～18:00(入館は17:30まで)

一般:1100(900)円、高大生:600(400)円、小中生:400(300)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方は無料。年長者施設利用証(北九州市交付のもの)を提示の方は2割減免。
前売り券は、ローンチケット(Iコード:84824)、チケットびら(Pコード:760-814)、セブンイレブン、ファミリーマート、小倉井筒屋、黒崎井筒屋、
北九州モノレール主要駅、筑豊電気主要駅で販売。
※ローンチケット、チケットびら、セブンイレブン、ファミリーマートについては、展覧会開催中は当日料金での販売となります。
主催 1968年震災実行委員会(北九州市立美術館、読売新聞社、FBS福岡放送)、美術館連絡協議会
後援 NHK北九州放送局、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、北九州モノレール、筑豊電気鉄道株式会社、
株式会社スターフアイマー、北九州市、北九州教育委員会
協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、リバーウォーク北九州

リバーウォーク北九州5F 北九州市立美術館分館
KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART, RIVERWALK GALLERY
〒808-0812 北九州市小倉北区室町一丁目1番1号 Tel.093-562-3215 http://www.kmma.jp

小倉北 **北九州芸術劇場**  

所小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 観公演によって異なります
 〰「西小倉駅」徒歩3分 〰「室町・リバーウォーク」徒歩1分 〰年未年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	レクイエム in 北九州2018	2(日)	15:00	一般 ¥2500 学生(小~大学生) ¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増	レクイエムin北九州 実行委員会 (ディーキューブギャラリー内) 093(533)1313
中劇場	KERA・MAP #008 「修道女たち」 名だたる演劇賞を受賞したKERA・MAPシリーズ最新作!	1(土)	13:00 18:00	一般 ¥7000 ユース(24歳以下) ¥3500 高校生(的)チケット ¥1500	北九州芸術劇場 093(562)2655
		2(日)	13:00	※対象:小学生以上	
小劇場	北九州芸術劇場プロデュース/九州男児劇 「せなに泣く」 熊本県出身の劇作家・演出家 田上豊と九州出身の俳優たちによる群像劇。	11/29(木) ~30(金)	19:00	一般 ¥3000 学生(小~大学生) ¥2500 高校生(的)チケット ¥1000	
		12/1(土)	13:00 18:00	※対象:小学生以上 ※当日 ¥500増	
		12/2(日)	13:00		

■北九州芸術劇場修繕工事のお知らせ
 北九州芸術劇場は大ホール・中劇場・小劇場の施設・設備の修繕工事を実施いたします。
 (予定工事期間:2018年12月3日から2019年2月28日)〈北九州芸術劇場 施設係 TEL093(562)8436〉

小倉北 **北九州芸術劇場 市民ギャラリー** 

所小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520
 〰10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
 〰「小倉駅」徒歩10分 〰「西小倉駅」徒歩3分 〰年未年始(12/29~1/3)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ふれあい写真展 写真	5(水)~11(火)	無料	ふれあい 090(5484)2938
真帆館高等学校 美術科 第20回卒業制作展 油彩・デザイン・陶芸作品・工芸品	13(木)~18(火)	無料 ※18(火)は16:30まで	真帆館高等学校 093(561)1231
チョークアートグループ展 in 北九州 チョークアート	19(水)~25(火)	無料	チョークアとななゆう 090(3328)7850

八幡東 **北九州市立響ホール** 

所八幡東区平野1-1-1 ☎093(662)4010 〰「八幡駅」徒歩15分 〰「八幡駅入口第一」徒歩10分
 〰「国際村交流センター」徒歩3分 〰年未年始(12/29~1/3)、隔月1回(不定休) 〰240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
響ホール25th 南紫音ヴァイオリン・リサイタル 愛の悲しみ、美しきロスマリン、ツィゴイネルワイゼン ほか	1(土)	15:00	一般 ¥3000 25歳以下(要証明) ¥2000 ※対象:小学生以上 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661
九州共立大学リパティ・ヒル・ウインズ 第24回 定期演奏会	8(土)	15:00	一般 ¥400 ※小学生未満無料 ※全席自由	九州共立大学リパティ・ヒル・ウインズ 090(7989)3734【原田】
産業医科大学管弦楽団 第34回定期演奏会	9(日)	18:00	一般 ¥500 ※当日 ¥300増 ※全席自由	産業医科大学管弦楽団 090(8465)1006【佐藤】
0才からの親子で楽しむクラシックコンサート トランペット吹きの日、カルメン前奏曲、きらきら星変奏曲、四季のメドレー(お話付き)	22(土)	11:00	おとな ¥2000 こども(0歳~小学生) ¥1000 親子ペア(おとな1+こども1) ¥2500 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661
クリスマス・コンサート in 2018 クリスマス キャロル アルバム ほか	23(日祝)	14:00	無料 (要整理券) ※対象:小学生以上 ※全席自由	北九州メモリアル女声合唱団 090(7384)7090【持橋】

門司 **旧大阪商船** 

所門司区港町7-18 ☎093(321)4151
 〰9:00~17:00 〰「門司港駅」徒歩1分 〰なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
2階	NHK大河ドラマ「西郷どん」巡回展 NHK大河ドラマ「西郷どん」の魅力とドラマが描く時代を写真資料や映像で紹介。衣装や小道具などを展示します。	1(土)~9(日)	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 **旧門司税関** 

所門司区東港町1-24 ☎093(321)4151 〰9:00~17:00
 〰「門司港駅」徒歩3分 〰なし

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
2階	『門司の画家たち展』	11/29(木)~12/5(水)		無料 ※5(水)は15:00まで	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	『渚のガラスのランプ工房展』	7(金)~12(水)		無料 ※12(水)は13:00まで	
	『門司区中学校文化連盟書写展』	14(金)~19(水)		無料 ※19(水)は16:00まで	
1階	『門司青少年少女合唱団』	23(日祝)	18:00~ 19:30	無料	

門司 **門司港レトロ展望室** 

所門司区東港町1-32 ☎093(321)4151 〰10:00~22:00(カフェは20:30まで※天空ジャズ開催日以外のカフェの営業時間は「関門海峡&門司港レトロ」ホームページをご確認ください)、入館は開館30分前まで 〰「門司港駅」徒歩5分 〰年4回

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ 出演:トニックオブノーツ	1(土)	18:30 19:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
響ホール室内合奏団PRESENTS『“てんくう”Xmasコンサート』 出演:響ホール室内合奏団	23(日祝)	17:30 19:00	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	

門司 出光美術館(門司) 

所 門司区東港町2-3 画093(332)0251 画10:00~17:00(入館は閉館30分前まで) 泉[門司港駅]徒歩8分
 泉[門司IC]約10分 休 月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、年末年始(12/25~1/10)

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
青磁と白磁 東洋の青と白のやきもの。古陶磁~近現代の名品より、その魅力に迫ります	開催中~12/24(月)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
講演会「青いやきもの」と「白いやきもの」-その魅力と展開 美術鑑賞をさらに深め、展覧会をお楽しみいただけます	8(土)	14:00~15:30	一般 ¥800(入場料込) ※要事前申込(定員120名)	
列品解説 学芸員が展示作品を分かりやすく解説します	9(日) 23(日)祝	①11:00 ②14:00	無料 ※入場料が必要	

門司 門司港美術工芸研究所 

所 門司区東港町6-72 港ハウス2F 画093(322)1235 画10:00~17:00
 泉[門司港駅]徒歩5分 休 月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
常設展 油彩画・日本画・彫刻・染色など、約50点を展示します。	開催中	無料	門司港美術工芸研究所 093(322)1235

門司 門司市民会館 

所 門司区老松町3-2 画093(321)2907 画9:00~22:00 泉[門司港駅]徒歩13分
 泉[関門トンネル車道口]徒歩2分 泉[レトロ東本町1丁目]徒歩3分 休 年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	「子どもの明るい未来を考える」 第4回門司区中学生・高校生意見発表会 門司区内の中学生・高校生による意見発表、門司中学校吹奏楽部の演奏発表	1(土)	9:30	無料	門司区役所コミュニティ支援課 093(331)1883
	スタイルフレーバー発表会 「CHIBI IPPO」	16(日)	11:30 16:30	¥3000(前売・当日共) ※3歳以下無料	(有)まる スタイルフレーバー 093(582)4000

門司 旧大連航路上屋 

所 門司区西海岸1-3-5 画093(322)5020 画9:00~17:00
 泉[門司港駅]徒歩5分 休 年4回

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
2階ホール	マンズリージャズ 出演:三島紀也カルテット	9(日)	14:00~16:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	マンズリーシアター 上映作品:「白屋堂々」1968年 松竹 監督:野村芳太郎 出演:瀧美清、倍賞千恵子	23(日)祝	14:00~16:00	無料	

門司 松永文庫 

所 門司区西海岸1-3-5(旧大連航路上屋1F) 画093(331)8013 画9:00~17:00
 泉[門司港駅]徒歩5分 休 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、1/8

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
松永文庫企画展「イラストによる映画ポスター展」 映画のポスターに描かれたイラストにスポットを当てた、大人から子供まで楽しめる企画展です。	10/17(水)~1/6(日)	無料	松永文庫 093(331)8013

小倉北 アルモニーサンク北九州ソレイユホール 

所 小倉北区大手町12-3 画093(592)5405 画公演によって異なります
 泉[小倉駅]徒歩30分 泉[西小倉駅]徒歩15分 泉[ソレイユホール・ムーブ前]徒歩1分
 休 年末年始(12/29~1/3)、毎月1回(不定休) 画80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	VOICE ~心を結ぶ世界の歌声~	2(日)	15:00	A席 ¥5800 B席 ¥5300	MIN-ON北九州 093(884)1833
	美川憲一&コロッセ スペシャルジョイントコンサート	5(水)	14:00 18:00	S席 ¥8000 A席 ¥7000	(株)鈴木企画 092(285)4864
	DRUM TAO 2018 RHYTHM of TRIBE ~時空旅行記~ FINAL	8(土)	17:00	SS席 ¥7700 S席 ¥6700 A席 ¥5700	TAO事務局 092(721)2015
	読響・N響TOP MEMBER &シンフォニー合唱団 Christmas Concert 2018 聖夜に響くクリスマスの祭典	9(日)	17:00	一般 ¥3500 学生 ¥2500 ※当日¥500増 ※全席自由	シンフォニー合唱団 0120(012)788
	クリスマス パイプオルガンコンサート 北九州ソレイユホールがお贈りするオルガンとオーボエのコラボ	14(金)	14:30	大人(中学生以上) ¥700 子ども(3歳~小学生) ¥500 親子ペア(大人+子ども) ¥1000 ※団体料金10人以上で1人¥100引き(ペア券除く) ※全席自由	北九州ソレイユホール 093(592)5405
	北九州市立大学吹奏楽団 第51回定期演奏会	15(土)	18:00	全席自由 ¥500	北九州市立大学吹奏楽団 093(962)0771
	第九の夕べ ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調作品125「合唱付き」	21(金)	19:00	一般 ¥4000 学生 ¥1100 ※全席自由	九響チケットサービス 092(823)0101

小倉北 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 

所 小倉北区大手町11-4 画093(583)3939 画9:30~21:30 泉[西小倉駅]徒歩15分
 泉[ソレイユホール・ムーブ前]徒歩1分
 休 所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始(12/29~1/3) 画有料

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	第4回定期演奏会 ビッグバンドコンサート	22(土)	17:30	無料	北九州市立大学JAZZ研究会K&K 080(2750)3886【八品】
	ピアノ発表会 ピアノ発表会	24(月)休	13:00	無料	CAM'S PC 090(1368)3015【宮崎】

小倉北 **北九州市立小倉城庭園** 

〒小倉北区内1-2 ☎093(582)2747 9:00~17:00(11月~3月)入館は閉館の30分前まで
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 閑なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
展示室	城内動植物園 ~小倉城庭園の美術より~  当館所蔵の絵画・工芸作品の中から、動物や植物をモチーフにした作品を紹介。	開催中~1/27(日)		一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
		書院棟	王朝装束(十二単)着付け披露  一般公募で選ばれた女性2名が十二単を着付けていきます。	2(日)	
書院棟	和室・ 年忘れ 男の茶会 お点前、お運び全て男性だけで、おもてなしいたします。	23(日)祝	9:00	一般 ¥1500 小中学生 ¥700 (薄茶二席・入館料込)	
書院棟 入口	大鏡餅飾り付け  「小倉城大鏡餅 餅つき」でついた大鏡餅を飾り付けます。	28(金)	10:00	一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	

小倉北 **北九州市漫画ミュージアム** 

〒小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5F・6F) ☎093(512)5077 11:00~19:00(入館は閉館の30分前まで)
 小倉駅 徒歩2分 火曜日(ただし12/25は開館)、年末年始(12/31~1/2)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	鋼の錬金術師展  貴重な漫画生原稿で「ハガレン」の世界を振り返ります。	10/13(土)~12/9(日)		一般 ¥1000 中学生 ¥500 小学生 ¥250 [常設展セット券] 一般 ¥1200 中学生 ¥600 小学生 ¥300	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
		北九州国際漫画祭2018  「北九州国際漫画大賞」優秀作品展を中心に、漫画の世界的な広がりを紹介。		12/22(土)~1/20(日)	
ミヤコヤ 三ツツヤ	マカロニほうれん荘展 in 福岡  福岡県出身の漫画家・鴨川つばめによる伝説的ギャグ漫画の原画展。	11/17(土)~1/17(木)		無料 常設展入場料が必要	
イベントコーナー 常設展示室	漫画スクール  ①漫画で楽しい年賀状を描こう(干支の描き方「亥」) ②漫画でクリスマスカードを作ろう(冬のアイテムの描き方)	①2(日) ②23(日)祝	13:00~ 16:00	無料 常設展入場料が必要 ※対象:小学3年生以上 ※要事前申込、定員各先着20名	
	第1回 漫画読書会  テーマ「2018年 私の漫画大賞」 今年読んだ作品の中から、あなたの心に残った作品を紹介しながら、みんなで漫画を語り合おう!	7(金)	17:30~ 19:00	無料 常設展入場料が必要 ※対象:18歳以上 ※要事前申込、定員先着10名	
	漫画体験  漫画の模写や塗り絵、ペンの使い方、簡単なデジタル作画など、初心者でも参加できます。	9(日) 22(土)	13:30~ 16:30	無料 常設展入場料が必要 ※当日各先着20名、途中参加可	
その他	第3回「北九州国際漫画大賞」表彰式&記念イベント 受賞者をお招きしての表彰式と、審査委員やゲストによるトークイベントを開催。	22(土)	14:00~ 17:00	無料 ※定員100名、要事前申込 ※会場:北九州国際会議場	

小倉北 **北九州市立こども文化会館**(併設到津市民センター) 

〒小倉北区下津4-3-2 ☎093(592)4152 9:00~17:00
 小倉北特別支援学校 徒歩1分、「下津」徒歩5分
 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3) 20台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
図書室	テルミン・マトリョミンコンサート ロシアの物理学者テルミン氏が発明した世界初の電子楽器「テルミン」。不思議な音色でお馴染みの曲を楽しむ。	2(日)	11:00	無料	北九州市立こども文化会館 093(592)4152
	ビデオーむ 「クリスマスキャロル」「トムとジェリー Vol.1」	2(日)	14:00	無料	
児童劇場	スペシャルファミリー人形劇場 親子や家族で人形劇を楽しむ。	9(日)	10:30 13:30	無料	
	こども演劇教室卒業公演 演目:夢をあきらめないで	23(日)祝	14:00	無料	

小倉北 **北九州市立美術館分館** 

〒小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ☎093(562)3215 10:00~18:00(入館は閉館30分前まで)
 西小倉駅 徒歩5分、小倉駅 徒歩10分 室町・リバーウォーク前 徒歩1分 年末年始(12/28~1/3) および館内整理日 有料

会場	イベント	期間(時間は上記)	開演	入場料	問合せ先
	1968年 一激動の時代の芸術  政治・文化における運動が激化した1968年。多角的な視点から激動と転換の年に迫る。	12/1(土)~1/27(日)		一般 ¥1100 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※20名以上の団体料金 一般 ¥900 高大生 ¥400 小中生 ¥300	北九州市立美術館分館 093(562)3215

小倉北 **北九州市立文学館** 

〒小倉北区内4-1 ☎093(571)1505 9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)
 小倉駅 徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 勝山公園(市立文学館前) 徒歩1分
 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	描かれた西郷どん展~アート、文学、サブカルから~  美術、文学、サブカルチャーなどに描かれる西郷隆盛のイメージを紹介する。	10/27(土)~ 12/16(日)		一般 ¥700 中学生 ¥200 小学生 ¥100 ※30人以上の団体料金 一般 ¥560 中学生 ¥160 小学生 ¥80	北九州市立文学館 093(571)1505
	文学講座「西郷隆盛の漢詩と人生一敬天愛人の志」(全2回) 講師:林田慎之助さん(神戸女子大学名誉教授)	15(土)	13:30	無料 ※要電話申込、1回目は開催終了	

小倉北 北九州市立松本清張記念館  所小倉北区内2-3 画093(582)2761 画9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)
 画「西小倉駅」徒歩5分 画「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 画年末(12/29~31)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展示室	松本清張生誕祭 加島巧教授(長崎外国語大学)の講演など	7(金)	15:00~16:30	ケーキ・コーヒー代 ¥500 常設展示観覧は別途入館料が必要 ※要事前申込	松本清張記念館 093(582)2761
	松本清張記念館開館20周年記念特別企画展「松本清張『砂の器』展」 	12/18(火)~3/31(日)		常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中高生 ¥300 小学生 ¥200	

小倉北 小倉井筒屋  所小倉北区船場町1-1 画093(522)3111(代) 画10:00~19:00※各最終日は16:00に閉館
 画「小倉駅」徒歩7分 画不定休、1/1

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
新館7階大画廊	蒲原 元 展 ~それぞれが迎える一日~ 美しい色彩と絵肌、詩的に描かれる油彩画を展示。	11/28(水)~12/4(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	第7回 伊熊義和 油絵展 北九州市生まれ。写実による静物画を中心に展示。	5(水)~11(火)	無料	
	迎春・四季の掛軸展 新しい年を迎えるお祝いの掛軸や四季の掛軸などを紹介。	12(水)~25(火)	無料	
新館7階小画廊	~太陽の国の色彩とフォルム~ 船戸あやこ 作陶展 スペインタイルの第一人者。伝統的な手法で作られたオリジナル作品を紹介。	11/28(水)~12/4(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	ヨーロッパアンティーク名窯展 18世紀よりヨーロッパ貴族に愛され続けた優美で華やかな名窯の作品を展示。	5(水)~11(火)	無料	
	—100年の時を超えて— オールドノリタケ展 明治中期から1900年代初期に製造された逸品を一堂に覧。	12(水)~18(火)	無料	
	~西洋と東洋の交流点~ トルコ美術工芸展 キリム絨毯やトルコ石アクセサリー、ガラス工芸品などを紹介。	19(水)~25(火)	無料	
小画廊・新館7階	年末年始 絵画展 多彩な作家の絵画・版画などを展示。	26(水)~31(月)	無料	小倉井筒屋 大画廊・小画廊 093(522)2521

小倉北 小倉城  所小倉北区内2-1 画093(561)1210 画9:00~17:00(11月~3月)入館は閉館の30分前まで
 画「小倉駅」徒歩15分、画「西小倉駅」徒歩10分 画2019年3/31まで休館中

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
小倉城 天守閣前	第60回 小倉城大鏡餅 餅つき	23(日)祝	9:00	無料	小倉城 093(561)1210

小倉南 小倉南生涯学習センター  所小倉南区若園5-1-5 画093(931)1286 画9:00~22:00 画「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分
 画(モノレール)「北方駅」徒歩12分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北部九州吟剣詩舞連盟 第44回後期吟剣詩舞道大会	23(日)祝	9:30	無料	北部九州吟剣詩舞連盟事務局 090(7457)3676【大内】

若松 若松市民会館  所若松区本町3-13-1 画093(771)8131 画9:00~22:00 画「若松駅」徒歩1分
 画「大橋通り」若松駅「若松市民会館前」徒歩2分 画年末年始(12/29~1/3) 画110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	第12回プラスフェスタ in 若松	16(日)	13:30	一般 ¥700 中高生 ¥500 ※小学生以下無料 ※当日一般¥100増	プラスフェスタ実行委員会 093(771)8131

若松 現代美術センター CCA北九州  所若松区ひびきの2-5 学術研究都市 画093(695)3691 画10:00~17:00(展覧会開催時のみ)
 画市営バス「学研都市ひびきの」徒歩3分 画年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	ハミッシュ・フルトン展 自ら愛媛県久万高原町の遍路道を14日間歩いた経験から制作された新作の展示	12/5(水)~2/1(金) (日・祝休み)	無料 ※土曜日は12:00から	現代美術センターCCA北九州 093(695)3691

八幡東 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)  所八幡東区東田2-2-11 画093(663)5411 画平日9:00~19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)
 画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩3分
 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3) 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
ギャラリー 企画展示	秋企画展「光のふしぎ展 2」  光が魅せる色や音と、人の動きが反応し合う、ふしぎなスペースで遊んでみましょう。	10/13(土)~1/14(月)祝		大人 ¥300 小人(小中学生) ¥100 ※小学生未満無料	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411
ステーション プレゼン	テクノロジー×アートで何が見えますか? テクノロジーの進歩と普及がアートにさらなる広がりを生み出す。 講師は森脇裕之氏(多摩美術大学教授)。	8(土)	13:00~14:30	無料 ※対象:中学生以上	

八幡東 北九州市立児童文化科学館  所八幡東区桃園3-1-5 画093(671)4566 画9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 画「市立児童文化科学館前」徒歩5分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
プラザ 大ホール	星の観望の夕べ  プラネタリウム観覧後、秋の星空を望遠鏡で観察します	15(土)	18:30~20:00	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者の参加が必要 ※先着100名、1時から電話受付開始	児童文化科学館 093(671)4566
大ホール	クリスマスハンドベルコンサート ハンドベルを使ってクリスマスソングの演奏を行います	22(土)	14:00~14:50	無料	
会議室	サイエンスショー 「サンタさんと科学マジック」	23(日)祝	14:00~14:50	無料	

八幡東 **北九州市立旧百三十銀行ギャラリー** 

所八幡東区西本町1-20-2 ☎093(661)9130 時10:00~18:00
 〇八幡駅 徒歩5分 休年末年始(12/29~1/3)

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
古布手作り人展 主催 松家ノ子 (谷口美智子)	14(金)	12:00~17:00	無料	090(2088)2366【谷口】
	15(土)	10:00~16:00		
ボーカル&ゴスペルコンサート 主催 ヤマハミュージックリテイリング小倉店	23(日)祝	14:00~16:00	無料	旧百三十銀行ギャラリー 093(661)9130

八幡東 **北九州市立いのちのたび博物館** (自然史・歴史博物館) 

所八幡東区東田2-4-1 ☎093(681)1011 時9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 〇スペースワールド駅 徒歩5分 〇いのちのたび博物館 徒歩1分
 休年末年始(12/29~1/1)、6月下旬頃(約1週間) 〇大型30台、普通300台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
秋の特別展「食のたび—箸と和食の文化史—」 旅順博物館の箸コレクションや、古代から江戸時代までの食文化について紹介	開催中~12/9(日)		大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	いのちのたび博物館 093(681)1011
秋の特別展関連イベント「利きダシ」 かつおに昆布にシイタケ…異なる素材でとったダシを味見して利きダシに挑戦!	2(日)	13:30	要特別展入場料 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※当日先着50名	
秋の特別展関連イベント「ギャラリートーク」 特別展会場で学芸員が「食」にまつわる美味しい話をご紹介します。	2(日)	14:00	要特別展入場料 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
冬の特別展「世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命遺産」 世界遺産八幡製鐵所の歴史と価値を紹介し、北九州の近代史を明示する。	12/22(土)~2/11(月)祝		要常設展観覧料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200	
歴史講演会「坂本龍馬と明治維新」 講師:京都国立博物館 上席研究員 宮川禎一氏	8(土)	13:30	資料代 ¥500 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※当日先着200名	
室内講座「恐竜すず払い」 毎年恒例、展示している恐竜のすずを払います。	25(火)	16:30	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(抽選)、小学生は保護者同伴	

八幡西 **北九州市立子どもの館** 

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ7F ☎093(642)5555 時10:00~19:00
 〇黒崎駅 徒歩1分 〇黒崎バスセンター 徒歩1分 休12/5、19、31

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
ルームプレイ	絵本「ワオくんのはね」読み聞かせ 他者を受入れることの重要性を描いた絵本、参加家族に絵本のプレゼントあり	1(土)	13:00~13:30	無料	北九州市立子どもの館 093(642)5555

八幡西 **北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館** 

所八幡西区木屋瀬3-16-26 ☎093(619)1149 時9:00~17:30(入館は17:00まで)
 〇筑前植木駅 徒歩15分 〇(筑豊電鉄)「木屋瀬駅」徒歩5分 〇九州自動車道「八幡IC」、北九州都市高速「馬場山ランプ」約10分
 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
この産	三代目藤ひろし 歳忘れ木屋瀬公演 「ひろしプロジェクト vol.1」	16(日)	12:00 17:30	一般 ¥3000	090(8830)0730【松岡】

八幡西 **黒崎井筒屋** 

所八幡西区黒崎1-1-1 ☎093(643)5111(代) 時10:00~19:30※各最終日は17:00に閉場
 〇黒崎駅 隣接 休不定休、1/1

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
6階 ギャラリー	花田和彦 30周年作陶展 磁器と陶器の原料を半半ずつ混ぜて作る「半陶半磁」の作品を紹介。	11/27(火)~12/2(日)	無料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	迎春こっとう展	4(火)~9(日)	無料	
	臼木英之 絵画と絵ごろも展	11(火)~16(日)	無料	
	~生誕135周年記念~ 竹久夢二 肉筆・初版オリジナル展	18(火)~24(月)休	無料	
	末廣章 絵画展	12/25(火)~1/6(日)	無料	

八幡西 **北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー** 

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F ☎093(644)5206 時9:00~19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる
 〇黒崎駅 徒歩1分 休年末年始(12/28~1/3)および館内整理日

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
全展示室	第11回北九州市障害者芸術祭作品展 洋画・日本画・工芸・書・写真・その他	開催中~12/2(日)	10:00~18:00	無料 ※2日は17:00まで	(公)北九州市身体障害者福祉協会 093(883)5555【松崎】
	日本風景写真協会 創立15周年記念選抜展 写真	3月~9(日)	9:00~18:00	無料 ※3月は13:00から、9日は15:00まで	日本風景写真協会 093(662)5256【高田】
	曹亜鋼水墨芸術学院北九州地区作品展 中国現代水墨画	11(火)~16(日)	9:30~17:00	無料 ※16日は16:00まで	曹亜鋼水墨芸術学院 093(631)6818【柴田】
	福岡県立八幡中央高等学校芸術コース第19回卒業制作展 洋画・彫刻・工芸・書・グラフィックデザイン	18(火)~23(日)祝	9:00~17:30	無料 ※23日祝日は17:00まで	福岡県立八幡中央高等学校 093(681)2335【城】
展示室	みんなの書作展 書	24(月)休~27(木)	10:00~18:00	無料 ※24月休は11:00から、27木は17:00まで	書塾日月 090(2088)9969【楠元】

八幡西 黒崎ひびしんホール (北九州市立黒崎文化ホール)

〒812-0201 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 093(641)9360 9:00~22:00
 黒崎駅 徒歩10分 筑豊電鉄「黒崎駅前」徒歩10分 熊手四ツ角 徒歩1分
 北九州都市高速「黒崎IC」5分 休年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	平成30年度八幡東西文化祭 第45回民謡講座研究発表会	1(土)	12:00	無料	八幡東西民謡講座研究会 093(642)2433
	第21回北九州市手話フェスティバル	2(日)	13:00	一般 ¥2000 高校生以下 ¥1500 親子 ¥3000 ※当日一般・親子 ¥500増、高校生以下 ¥300増	特定非営利活動法人 北九州市聴覚障害者協会 093(881)0114
	九州工業大学・西南女学院大学吹奏楽部 第42回定期演奏会	8(土)	18:00	無料	九州工業大学・ 西南女学院大学吹奏楽部 080(5211)7430【秦】
	平成30年度第44回北九州市小・中・特別支援学校 児童生徒読書感想文表彰式	9(日)	13:00	無料	北九州市立中央図書館 093(571)1481【松浦・松岡】
	北九州子ども劇場 12月乳低合同例会 「おやゆびひめ〜真冬に春がやってきた」(人形劇団クラルテ)	15(土)	15:00 18:30	会費 ※子ども劇場会員でない方は お問い合わせください	北九州子ども劇場 093(884)3834
	平成30年度福岡教育大学附属小倉中学校合唱祭	20(木)	13:00	無料	福岡教育大学附属小倉中学校 093(541)8621
	北九州子ども劇場 12月高学年部例会 「夜明けの落語」(劇団うりんこ)	23(日)祝	15:30 19:00	会費 ※子ども劇場会員でない方は お問い合わせください	北九州子ども劇場 093(884)3834
	クリスマスコンサート	24(月)休	14:00	無料	北九州アカデミー少年少女合唱団 080(9141)4276【石井】
	KitaQsyu Dance battle	1(土)	13:00	¥3000 ※小学生以下無料	九州ストリートパフォーマンス実行委員会 090(8221)1546【Macky1】
	音の杜 Le Monde Nouveau 新しい時代への挑戦〜バロックから現代まで〜	7(金)	19:00	一般 ¥2000 大学生以下 ¥1000 ※未就学児路上1名まで無料 ※当日各 ¥200増 ※全席自由	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
中ホール	アプレシオ・アラ・ムジカ音楽スタジオ 2018 PIANO CONCERT	8(土)	13:15	無料	アプレシオ・アラ・ムジカ音楽スタジオ 093(981)8520
	合唱の街・北九州 黒崎ひびしんうたごえホール 〜みんなで楽しく歌いましょう〜	11(火)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	第41回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 親しんだ歌を合唱してみよう! 岩崎洋一(合唱指揮者)・山廣絢子(ピアノ)	14(金)	13:00	¥500	
	2018「心のコンサート」 in 黒崎	15(土)	14:00	¥1000	ハーモニック・パル 070(5414)1630【長谷川】
	Pia-Con PIARA ピアノコンクール 北九州 I 地区予選	16(日)	11:00 (予定)	無料	九州・山口事務局 0952(31)2273
	福岡県立八幡工業高等学校吹奏楽部 第52回定期演奏会	22(土)	14:00	無料	福岡県立八幡工業高等学校 093(641)6611

八幡西 八幡西生涯学習総合センター

〒812-0201 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 093(641)9360 9:00~22:00
 黒崎駅 徒歩1分 黒崎IC 約6分 休年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
コミュニティ3階 メインエントランス広場	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 音楽のある街づくり ミニコンサート 毎月第2土曜日に、ジャズやボサノバ、映画音楽などを演奏するミニコンサートを実施	8(土)	12:00~ 13:00	無料	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 093(671)0411【石橋】
	クリスマスコンサート 出演:Play&Pray Gospel Choir	11(火)	12:10~ 12:50	無料	北九州ひとみらいプレイス事務局 八幡西生涯学習総合センター 093(641)9360

戸畑 北九州市立美術館本館

〒812-0201 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 093(882)7777 9:30~17:30(入館は閉館30分前まで)、12/23は20:00まで
 美術館口 徒歩10分、「七条」美術館口より無料シャトルバス運行 210台
 休月曜日(祝日・振替休日の場合翌日休館)、年末年始(12/29~1/1)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	ジョルジュ・ルオー 聖なる芸術とモデルニテ 20世紀最大の宗教画家ジョルジュ・ルオー。その聖なる芸術の意味と現代性を再考する。	12/16(日)~2/17(日)		一般 ¥1200 高大生 ¥800 小中生 ¥600 ※前売り及び20名以上の団体料金 一般 ¥1000 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※12/23日祝は20:00まで(ナイトミュージアム)	北九州市立美術館 093(882)7777
読書室	第53回北九書の祭典 書	11/29(木)~12/2(日)		無料 ※2日は16:00まで	
コレクション展示室	コレクション展Ⅱ 特集 アメリカで活躍したアーティストたち 1960's-80's 1960~80年代にかけてアメリカで活躍した作家に焦点をあて、戦後アメリカ美術の動向を展望する。一部写真撮影可。	開催中~12/16(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50 ※20名以上の団体料金 一般 ¥120 高大生 ¥80 小中生 ¥40 ※12/8土臨時休館	
エントランスホール	カンパニーデラシネラ「ドン・キホーテ」 カンパニーデラシネラが手掛ける大人も子どもも楽しめる古典名作劇場!	8(土)	16:00 19:00	一般 ¥1500 子ども(5歳~小学生) ¥500 ※対象:5歳以上 ※送迎シャトルバスあり	北九州芸術劇場 093(562)2655
	クリスマスイベント「ハンドベルコンサート」 折尾愛真高等学校ハンドベルワイア	23(日)祝	18:00~ 18:30	無料 ※20:00まで開館(ナイトミュージアム)、カフェ・ミューゼも営業 ※送迎シャトルバス延長	北九州市立美術館 093(882)7777
読書室	第35回九州制作会議展2018 現代美術	4(火)~9(日)		無料 ※9日は17:00まで	九州制作会議 090(7166)8748【松尾】



会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州市立戸畑高等専修学校学習発表会 第29回ファッションショー SENSHU COLLECTION 『前進 可能性は無限大』	2(日)	10:00	無料	北九州市立戸畑高等専修学校 093(871)4794【齋藤】
	TAKAKO Chanson LIVE 「愛の讃歌」「水に流して」等代表的なシャンソンのほか「糸」等日本の曲も	8(土)	15:00	S席 ¥3800 A席 ¥3000 ※対象:小学生以上	北九州労音 093(571)0227
	北九州市少年少女合唱団 第44回定期演奏会 130人を超える団員が、楽しさと感動いっぱいのステージをお届けします。	16(日)	15:00	¥1000 ※小学生未満無料 ※当日¥200増	(公財)北九州市芸術文化振興財団音楽事業課 093(663)6661
	第16回北九州市立高等学校 ダンス部創部20周年記念公演	22(土)	13:00 18:00	¥500 ※当日¥100増	北九州市立高等学校 093(881)5440【緒方】
	チャンチャン劇団 第26回定期公演	23(日)祝 24(月)休	18:00 14:00	¥1000	チャンチャン劇団 093(452)3552【神田】
	サンダーボーイズ・ジャズ・オーケストラ 第40回定期演奏会	28(金)	18:00	無料	九州工業大学軽音部 サンダーボーイズ・ジャズ・オーケストラ 070(4382)0152【長谷】
中ホール	北九州演奏家グループ「虹の会」55周年記念 山廣絢子ピアノリサイタル 演奏家グループ「虹の会」55周年リサイタル。感謝の想いを音にこめて。	7(金)	19:00	¥2000	北九州演奏家グループ「虹の会」 090(2080)0255【山廣】
	第52回北九州市立大学混声合唱団 コール・ユーフォニー 第39回西南女学院大学・同短期大学部合唱部 クール・ベルフィーユ 合同定期演奏会	8(土)	14:00	無料	北九州市立大学混声合唱団 コール・ユーフォニー
	松本優哉・後藤トモ子 デュオリサイタルVol.2	9(日)	14:00	一般 ¥2500 高校生以下 ¥1500 ※当日¥500増	080(5540)5754【後藤】
	国境なきデュオ(水上裕子&デアンボジク)チェロ&ピアノコンサート	11(火)	19:00	¥3000	HMエンターテイメント 080(6421)7296【水上】
	第55回北九州市立大学マンドリンクラブ 定期演奏会	22(土)	17:00	¥500	北九州市立大学マンドリンクラブ
	ヴァイオリン・チェロ ソロコンサート	28(金)	13:30	無料	篠崎ミュージックアカデミー北九州 093(921)0459【吉田】
プラザ	クリスマスミニコンサート 出演者:北九州市少年少女合唱団・80歳からの合唱団・折尾愛真高等学校ハンドベルクワイア	22(土)	15:00	無料	ウェルとばた総合案内 093(871)7200



会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
多目的室	北九州市立年長者研修大学校 周望学舎写真研究クラブ 作品展示会 生徒35人の作品 約35~50点の展示	4(火)~9(日)	10:00~17:00	無料 ※9日は16:00まで	年長者研修大学校周望学舎写真研究クラブ 093(591)2626【高橋】

etc. 平成30年度 人権週間記念講演会 共通テーマ「私たちの暮らしと人権」

日程	開演時間	会場	演題	入場料	問合せ先
4(火)	(開場13:00) 開演13:30 講演会13:40 映画「あした咲く」 上映15:20	若松市民会館 大ホール (定員800人)	「部落差別書き込みの実態 ~ネット社会における人権侵害~」 (株)情報文化総合研究所代表取締役所長・武蔵野大学名誉教授 佐藤佳弘	無料 (先着順入場)	北九州市人権推進センター 人権文化推進課 093(562)5010
5(水)		北九州市立大学 A-101教室 (定員500人)	「自分らしく生きること」 モデル・タレント 西原さつき		
		響ホール 大ホール (定員500人)	「働く幸せを実現した町工場の奇跡 ~社員7割が知的障がい者のチョーク会社の真実~」 ノンフィクション作家 小松成美		
6(木)		門司市民会館 大ホール (定員800人)	「スポーツを通じた国際交流~国籍を乗り越えて~」 元Jリーガー・NHKサッカー解説者 宮澤ミシェル		
		黒崎びびしんホール 大ホール (定員800人)	「母親を介護して思うこと~高齢者の人権~」 ジャズシンガー 綾戸智恵		
7(金)		戸畑市民会館(ウェルとばた3階) 大ホール (定員800人)	「拉致被害者の人権を回復するために」 特定失踪者問題調査会代表・拓殖大学海外事情研究所教授 荒木和博 「命のあるうちに ひとり残さず取り返す」 北朝鮮による拉致の可能性を排除できない失踪者家族有志の会 (特定失踪者家族会)事務局長 竹下珠路		
10(月)	男女共同参画センター「ムーブ」2階 ホール (定員520人)	「子どもの貧困を取り巻く現状について~取材の現場から~」 NHK名古屋放送局報道部チーフ・プロデューサー 板垣淑子			

ジャンルごとに色分けして表記しています



演劇・舞踊



音楽



美術・展示



etc. 映像・その他催し

※11月12日現在の情報です
 ※催しは内容など変更になる場合がございます

障 障害者手帳減免があります



2018年
12月号表紙
旧サッポロビール九州工場

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」

■発行日/2018.12.1 ■発行/北九州市
 ■編集・制作/ (公財)北九州市芸術文化振興財団 文化情報課 〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11-5F
 TEL:093(562)3027 FAX:093(562)3029 E-mail:culcul@kicpac.jp 北九州市印刷物登録番号 第1809002A号

■TAKAKO
シャソンライブ

12月8日(土)午後2時30分開場、同3時開演。戸畑市民会館大ホール(戸畑区汐井町ウエルとばた内)。昨年、新作アルバムをリリースするなど勢力的に活動する北九州在住のシャソン歌手TAKAKOとピアノ高野紀子が出演。曲目はシャソンの名曲「愛の讃歌」や「水に流して」ほかを予定。全席指定。入場料、S席(労音事務局のみ取り扱い)3800円、A席3000円。未就学児入場不可。
北九州労音
093(571)0227



『TAKAKOシャソンライブ』チラシ

■九州交響楽団
ニューイヤーコンサート

1月12日(土)。午後4時開場、同5時開演。北九州ソレイユホール(小倉北区大手町)。華麗なるウイenna・ワルツの饗宴。指揮とお話は現田茂夫、ソプラノ佐藤しのぶ。合唱は九響合唱団、北九州シテリオペラ合唱団が出演。曲目はヨハン・シュトラウス2世「美しく青きドナウ」、ビゼー「歌劇『カルメン』」ハバ



『九州交響楽団
ニューイヤーコンサート』チラシ

ネラ」プッチーニ「歌劇『蝶々夫人』ある晴れた日に」ほか。全席指定。入場料、S席4000円、A席3000円。
九響チケットサービス
092(823)0101

■松田理奈×新倉瞳×佐藤卓史
ピアノ・トリオ・コンサート

1月26日(土)午後2時30分開場、同3時開演。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。出演はバイオリン松田理奈、チェロ

新倉瞳、ピアノ佐藤卓史。曲目はF・クライスラー「美しきロスマリン ト長調」、D・ポツパー「ハンガリー狂詩曲」、J・ブラームス「ピアノ三重奏曲第1番」などトリオ演奏・ソロ演奏あり。全席指定。入場料、一般3000円、25歳以下(入場時要証明)2000円。当日も同一料金。未就学児入場不可。
響ホール音楽事業課
093(663)6661



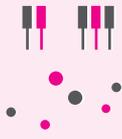
『松田理奈×新倉瞳×佐藤卓史
ピアノ・トリオ・コンサート』チラシ

■クリスマスイベント
ナイトミュージアム&ハンドベルコンサート

12月23日(日・祝)午後5時30分〜同8時。北九州市立美術館本館(戸畑区西鞆ヶ谷町)。企画展「ジョルジュ・ルオー 聖なる芸術とモデルニテ」を観覧する夜間特別開館ナイトミュージアムを開催。観覧料、一般1200円、高生800円、小中生600円。同6時から、折尾愛真高校ハンドベルクワイアのコンサート(鑑賞無料)も開催。無料シャトルバス延長運行。
北九州市立美術館本館
093(882)7777

永野栄子

いろはに
ぴあの



子どもさんの中には、実力以上の課題を前にすると、途端に混乱してしまう、という方がいます。ところが、幼少期の様子を尋ねると決まって、「手が掛からなくて、同年代の子ともやり何でも器用にすぐできるようになった」と、「学校での評価はとても良い」ということです。私の勝手な想像ですが、幼稚園

地頭の良い本心に優秀な人材を育てるには

や小学校低学年以下の、脳がとても発達する時期に、難なく課題をこなして過ごしてしまい、脳が楽をする、休むことを覚えてしまった。その結果、難題に直面してびっくりしているのではないかと。であれば、すでに育ててみよう」という気概をも

可能性は停滞することなく広がるでしょう。

子育ては、母親に与えられたビッグイベントだと考えています。教育機関に一任するのではなく「度肝を抜かれる子どもを育ててみよう」という気概をも

習得した事柄で足踏みさせず、もう一步先の働きかけをする。ことで、子どもの能力は順調に伸びるのではないのでしょうか。例えば飛び級のような制度が小・中学校でも一部のカリキュラムの中で認められれば、子どもの

「適進してただけならと思うのです。お受験推奨ではなく、古くから伝わる「地頭を良くする遊び」など有効に取り入れて、脳にも心にも栄養を。「一見優秀」ではなく「本心に優秀」な人材が育ってほしいものです。

CulCulの主な設置場所

各区役所・出張所、市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、響ホールなど

北九州市文化芸術メディアサイト
CulCul・かるかる



ウェブで情報発信中!
スマホ・パソコンから

<http://www.kitakyushu-culcul.jp>



©Naritaka Nakano

世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命遺産

北九州市立いのちのたび博物館 学芸員

日比野 利信 Toshinobu Hibino



官営八幡製鐵所旧本事務所(写真提供：新日鐵住金(株)八幡製鐵所[非公開施設])

2018年も残すところわずか。本年は「明治150年」の年で、各地でさまざまな記念事業が行われました。また同じく「明治」の名が付いた「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録から3年が経ちました。「明治日本」には八幡製鐵所の旧本事務所、旧鍛冶工場、修繕工場、遠賀川水源地ポンプ室が含まれます。本展覧会は明治150年と世界文化遺産登録3周

年を記念して開催するものです。展覧会は3部構成です。第1部は「明治日本の産業革命遺産」福岡県連絡会議が主催、関係地を巡回する「鉄都・八幡の誕生」です。佐賀に始まり、萩・鹿児島・蕪山を経て釜石に至る近代製鉄誕生の過程をたどります。この経験に加え、最新の技術を欧米から導入して、1901（明治34）年官営八幡製鐵所が開業します。新日鐵住金株式会社八幡製鐵所から関連資料をご出品いただいて、八幡製鐵所の歴史と役割を示します。製鐵所開業により八幡は「鉄都」として急激な発展を遂げました。昨年市制100周年を迎えた八幡の歴史と現在を紹介します。

第2部「石炭と鉄がつくった工業都市・北九州」では、製鐵に欠かせない石炭に注目します。八幡に官営製鐵所が建設されたのも、関係者の熱烈的な誘致運動に加えて筑豊の豊富な石炭資源があればこそ。今回はもちろん「世界の記憶」で知られる山本作兵衛最大の炭鉱記録画2点の原画を展示します。また北九州市内にあった大辻・小倉両炭鉱の関係資料も、次世代に炭鉱の記憶を伝えようとした人びとの思いと共に紹介します。筑豊の石炭輸送に活躍した「川ひらた」や鉄道、石炭積出港として発展した門司港・若松港に注目



富岡製糸場東置繭倉庫

して、北九州工業地帯の形成と役割を考えます。吉田松陰の松下村塾が産業化黎明期の人材育成機関なら、北九州を代表する企業家の安川敬一郎が私財を投じ設立した私立明治専門学校（現在の九州工業大学）は完成期の人材育成機関と言えます。「明専」が担った役割にも目を向けます。

「明治日本」は重工業を対象としていますが、2014年に世界文化遺産登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」は軽工業が対象です。本来両者とも「明治日本の産業革命遺産」と言うべきでしょう。第3部では八幡製鐵所と同様に官営工場（1872「明治5」年開業）である富岡製糸場について紹介します。生糸は近代日本の最重要輸出品でした。第3部は世界

文化遺産・官営工場つながりで、福岡市と北九州市が初めて連携して実施するものです。養蚕・製糸・織物という一連の絹産業の中で富岡製糸場を位置づけ、八幡製鐵所との共通点も明らかにします。

「明治150年」の年の終わりに、「明治151年」の年の初めに、ぜひ北九州市や日本の近代史を体験してみませんか。

Information

冬の特別展「世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命遺産」

【会期】12月22日(土)～2019年2月11日(月・祝)
※会期中無休
※12月29日(土)～1月1日(火・祝)は休館
【開館時間】午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)

【入場料】
大人500円(400円) 高大生300円(240円)
小中生200円(160円)
※()内は30名以上の団体料金
詳細は、ホームページまたは博物館までお問い合わせください
【お問合せ】北九州市立いのちのたび博物館
093(681)1011 <http://www.kmnh.jp/>



北九州マンガ散歩～小倉編～

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 図書担当

原田佳織 Kaori Harada

漫画の街・北九州を巡る オリジナル豆本マップ

「豆本」とは、手のひらに収まる小さな本の総称です。最古の豆本は古代メソポタミアの粘土板といわれています。西洋では16世紀頃から流行し、また日本でも江戸時代からその存在が知られています。日本における豆本は、子どもの読み捨ての本として作られていたようですが、西洋では、祈祷書や聖書をコン

パクトなサイズにして持ち歩くことがその始まりだったといわれています。今では収集家のコレクションとして愛されていますが、初期の豆本は実用性から生まれたものと考えられます。

この「豆本」ですが、北九州市漫画ミュージアムでは、過去に2冊のオリジナル豆本マップを作成しています。

1冊目は2015年のミュージアムウィークに合わせて作成した「ミュージアムを巡ろう！豆本クイズラリー」です。北九州市内の文化施設9館（文学館、美術館、博物館など）を巡り、各施設から出題されたクイズに答えていくクイズラリー用の豆本として作成しました。問題に合わせて各施設の特徴を表したイラストが描かれており、クイズを楽しみながら、新たな発見や施設の面白さが伝わる豆本です。非売品のため現在では入手不能となっています。

2冊目は、少女漫画の描き方のコツをつかむことができる「先



先パイと私

パイと私」です。この豆本は少女漫画ならではのキラキラした「目」や「表情」、「全身」の描き方やプラブストーリーのペン入れまで体験でき、漫画家気分を味わえる1冊となっています。作成当時は豆本ワークショップも同時開催し、豆本の組み立てだけではなく、漫画家による指導の下、漫画体験を行いました。

そして今年、新たなオリジナル豆本マップ「北九州マンガ散歩～小倉編～」を作成しました。この豆本では、北九州市小倉を中心とした漫画家ゆかりの土地を紹介しています。北九州にゆかりのある漫画家はおよそ100人におよび、また北九州が漫画の中に描かれることも多くあ

ります。そのような漫画家にゆかりのある土地や漫画で紹介されたスポットなどをまとめたマップや、「楽しむ・学ぶ・会う・味わう」のおすすめ散策スポットの紹介、北九州が多くの漫画家を生み出した背景をまとめたコラムなどを掲載しています。マップは当館館長で、漫画家・童画家でもある畑たいむの描き下ろしです。簡単な組立式キットのため豆本を作る楽しさも味わえます。漫画ミュージアム常設展ショップのみでの限定販売で、ここしか手に入りません。

この機会にぜひ豆本マップを手にとり、漫画の街・北九州を散策してみませんか。新たな発見が見つかるかもしれません。

Information

【常設展観覧料】

一般400(320)円 中高生200(160)円 小学生100(80)円

※()内は30名以上の団体料金

※小学生未満無料

【開館時間】午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)

【休館日】毎週火曜日 年末年始12月31日～1月2日

※ただし12月25日(火)は開館

【お問合せ】北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077

美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸係長

那須孝幸 Takayuki Nasu

なぜ今、「1968年」なのか



山口勝弘《Sign Pole》1968年 高松市美術館蔵

展示会の構成

- A 激動の1968年
1968年の社会と文化／美術界の1968
- B 1968年の現代美術
千円札裁判と「反戦と解放展」／環境芸術とインターネット／日本万国博覧会／反博の動きと万博破壊共闘派／トリックス・アンド・ヴィジョン
- C 領域を越える芸術
アンダーグラウンドの隆盛－演劇・舞踏・実験映画／イラストレーションの氾濫／漫画と芸術／サイケデリックの季節
- D 新世代の台頭
『プロヴォーク』の登場／もの派の台頭／概念芸術の萌芽

この年は、世界の社会、文化において重要な転換期とされています。海外ではベトナム戦争が長期化し反戦運動が高まるなか、パリ五月革命（フランス）、文化大革命（中国）、キング牧師の暗殺（アメリカ）など、国政にも影響を与えるような出来事が頻発しました。戦後20年を

過ぎた日本でも、この時期を前後して70年安保闘争をはじめさまざまな社会運動が激化しました。64年に東京オリンピックを控え、70年の大阪万博開催に向かって高度経済成長がピークを迎える一方で、地方の過疎化や公害問題のような「社会のひずみ」も表面化しました。

この展示会は、1968年から来年にかけて千葉、北九州、静岡を巡回します。当時の様相が伝説化される前に、生々しい時代の特徴を美術史的・文化的な視点から照射しようとする、全国で初めての試みです。

近年、「1968年」（昭和43年）から半世紀を迎えるにあたり、国内外ではこの時期を社会的、文化的に問い直す動きがでてきます。日本では、終戦を迎えた1945年でもなく、大阪万博が開催された1970年でもなく、なぜ今、「1968年」という年が注目されているのでしょうか。

そうした激動・激震の時代、

日本の文化形成においても大きな転機を迎えました。「アート&テクノロジー」「環境芸術」のように科学と芸術の融合が目指され、のちにメディアアートと呼ばれる表現が萌芽し、その一方で、近代批判、体制批判の視点に立った美術表現も過熱します。ほかに演劇、実験映画、

パフォーマンス、デザイン、漫画、音楽など、各分野の芸術家たちがジャンルを超えた前衛表現を展開し、なかでも「アンダグラ」と呼ばれた「アンダーグラウンド（前衛的サブカルチャー）」は、戦後アメリカの文化が色濃く反映されながらも日本独特の世界観やライフスタイルを生み出しました。

Information 1968年 一激動の時代の芸術

【会場】北九州市立美術館分館 ※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金
 【会期】12月1日（土）～2019年1月27日（日） 障害者手帳を提示の方は無料
 【開館時間】午前10時～午後6時 年長者施設利用証を提示の方は2割減免
 （入館は午後5時30分まで） 【お問合せ】093(562)3215
 【休館日】会期中無休、ただし12月28日（金）～ ※会期中、一部展示替えがあります
 1月3日（木）は休館 前期：12月27日（木）まで
 【観覧料】一般1100(900)円 後期：1月4日（金）から
 高大生600(400)円 小中生400(300)円

Event

学芸員によるギャラリートーク
 【日時】12月9日（日）、23日（日・祝）、
 2019年1月20日（日）
 各回午後2時から
 【会場】展示会場内（会場入口に集合）
 ※申し込み不要、ただし観覧料が必要

文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 学芸員

小野 芳美 Yoshimi Ono

『砂の器』の頃の松本清張 ——松本清張記念館開館20周年記念特別企画展 「松本清張『砂の器』展」

先月この欄では「『砂の器』シネマ・コンサート」（11月25日開催）をご紹介しました。このコンサートは、映画『砂の器』（野村芳太郎監督、1974年、松竹）をオーケストラの演奏と共に上映するというもので、映像と音楽と、双方の魅力を掛け合わせることで、より映画『砂の器』の醍醐味を感じていただけるものでした。

本日ご紹介したいのは、原作である小説の『砂の器』です。小説『砂の器』は、1960（昭和35）年春から約1年間新



『砂の器』展ポスター

間に連載されました。——東京の蒲田駅の操車場で死体で発見された中年男性は、前夜バーで目撃されていました。手掛かりは、小声で交わっていた東北弁の会話の断片だけでした。遺体の身元も、同行者の行方も杳として知れません。警視庁捜査一課の今西米太郎刑事は、解決の糸口を求めて東奔西走します。ようやく明らかになった思わぬ真犯人の動機は意外な過去に起因していました。

この小説『砂の器』を連載した頃の清張は『点と線』『眼の壁』のヒット（58〔昭和33〕年）で、「社会派推理小説」の第一人者として、一躍人気作家となっていました。生涯、同時に複数の連載を持ち続けた清張ですが、最盛期の59（昭和34）年には、週刊誌に5作品、新聞3作品、月刊誌5作品もの連載を発表しています。この他に単発の作品や書き下ろしもあり、ひと月の執筆量は原稿用紙で9000枚相当にもなったという計算もあるほどです。

注目すべきは、清張のこの「執筆の限界に挑戦する」という試みは、量だけのものではないということ。前述の推理小説作品のほかに、『日本の黒い霧』（60〔昭和35〕年）をはじめとしたノンフィクションの分野の作品にも精力的に筆を進めます。『日本の黒い霧』は米軍占領下の不可解な事件の真相を追求したもので、清張は自ら取材しながら毎月原稿を発表しました。「もはや戦後ではない」と言われて久しいなか、清張はあえて歴史の陰に切り込み、自らの論を立て、「質」を落とすことなく、一作品一作品筆を執ったのです。推理小説作品は発表するそばから評判を呼び、本が出るたびにベストセラーとなり、映像化されてはまた話題となるのですから、推理小説ばかり発表していても良かったのかもしれませんが、清張は現代史分野にも関心を寄せ続けました。こうした時期の清張が執筆した推理小説『砂の器』や『球形の荒野』（60〔昭和35〕年）が、現代史分野の作品と通底する問題意識を有しているのは当然のことかもしれません。動機や背後関係はもちろんですが、物語のそこかしこで、私たちが普段「見ないこと」にしている現代社会のひずみの存在も読者に考えさせるのです。

映画『砂の器』は清張も高く評価しましたが、原作小説『砂の器』もまた多くの魅力にあふれる作品です。時代性や清張の問題意識を色濃く有した小説『砂の器』も改めて手に取ってみてください。

Information 「『砂の器』展」

【開催期間】12月18日(火)～2019年3月31日(日)

【開催時間】午前9時30分～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

【休館日】年末(12月29日～31日)

【会場】松本清張記念館企画展示室

【入場料】常設展示観覧料を含む
一般500(400)円 中高生300(240)円
小学生200(160)円

()内は30名以上の団体料金

【お問合せ】

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区城内2の3
093(582)2761

ホームページアドレス

<http://www.kid.ne.jp/seicho>

演劇 hiroba

演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

猫と演劇

「猫とは、何よりもまず、劇作家である」(The cat is above all things, a dramatist.)。イギリスの作家が言った言葉らしいが、私も全く同じ意見である。猫は、なにかしら劇的なものを内包した生物だ。

猫好きの特徴としては、猫に対する鋭敏なアンテナが挙げられると思う。どんな場所にいる猫でもすぐに見つけることができるのだ。そんな私のアンテナに、この秋、数本の演劇作品とそのチラシが引っ掛かった。

一つ目は、「なちゅラルチーず」の『ララ』(作・金子愛里／9月22日・23日／eng)である。りんごと小松瑤弥香、女性2人のユニットだが、そのうちの1人、りんごは、「東筑紫学園高等学校演劇類型(現在は演劇専攻と改名)」在籍時代から、北九州芸術劇場の企画や地元劇団の作品に積極的に参加しているが、北九州にも活動の拠点が欲しいと、このユニットを立ち上げたという。

チラシのビジュアルからは、自分たちのペースで演劇を楽しんでいこうという、いい意味での「ゆったり感」が感じられる。これからも、どんどん北九州で活躍してほしい。

二つ目は、タイトルからして

猫好きの興味を引く『朗読会「秋と猫語り」』(9月13日／北九州文学サロン)である。これは「劇団TOKISA」の企画で、文字通り、秋と猫に関する作品の朗読会だ。彼らは11月には『語り朗読「どんどはれ」』主催の、戸畑を舞台に、ばい煙と戦った女性たちを描いた『セピア色の町 青空をとりもどした女たち』(作・演出・坂根啓子／11月25日／北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)に協力、出演し、活動の幅の広がりを見せてくれた。

そして「野外劇団楽市楽座」も、私の猫アンテナを刺激した劇団の一つだ。この劇団は、長山現と、佐野キリコ、そして萌の家族3人で全国を巡っている。柱も屋根もない、水の上をぐるぐる動く円形の廻り舞台に投げ銭。この、周りの景色に不思議に溶け込む魅力的な空間は、北九州でもすっかりおなじみとなった。今年の演目は、『赤いクツ』(作・演出・長山現／9月29日・10月1日)。

今回は「プレイベント」として、萌の一人芝居『黄色い自転車』、そして『楽市楽座トークショー』が、9月28日にengで行われた。2007年、7歳の頃に初舞台を踏んでから、毎年、成長した彼女の姿を見るのを楽しみにしている観客も多いようだ。今では、劇団にとっても欠くことのできない重要な存在となっている。

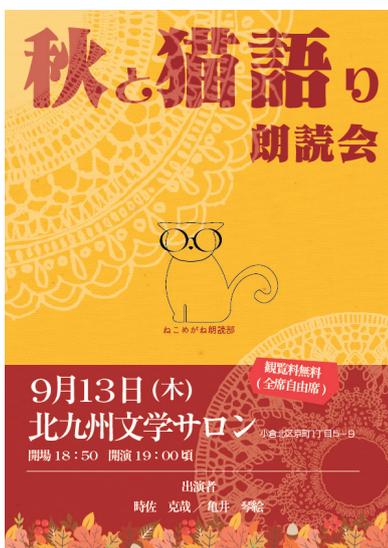
さて、「楽市楽座」については、チラシに猫が描かれている、というわけではない。実は、彼らはツアーに「ソラ」と名付けられた猫を随行させているのである。特にリードにつながれているわけではないようだが、ふ

らつとどこかへ行ってしまわないところは、かなり賢い猫ではないかと思われる。家族と猫と、演劇と、旅。貧乏性ですぐしがらみに絡みつかれて身動きできなくなってしまう私には、とてもうらやましい生活だ。

以前、インターネットの記事で、17年のペットの現状調査で、猫の数が犬のそれを大きく上回ったというデータを見た。これについては諸説あつて、真偽のほどは分からないが、毎日散歩に連れていく必要もなく、トイレトレーニングも比較的楽な猫は現代生活に合っているということだろうか。しかし、猫と生活をしてから初めて人間は知ることになる。猫の「主人」には決してなれないということ。さて、『CATS』のDVDでも見ることにしようか。



なちゅラルチーず『ララ』チラシ



劇団TOKISA『朗読会「秋と猫語り」』チラシ

Cul 特集Cul 68

漫画を通じた異文化との出会い 「北九州国際漫画祭2018」

専門研究員 表 智之 Tomoyuki Omote

北九州市漫画ミュージアム

今年で3回目となった、4コマ漫画の国際公募コンクール「北九州国際漫画大賞」。今回の応募総数は1784作品で、そのうち1010作品が海外から。全体の6割近くですね。現在最終審査中で、受賞作品の発表は12月上旬、受賞者をお招きしての表彰式は12月22日(土)に国際会議場にて開催します。

表彰式後の記念イベントには、この日から開幕する「北九州国際漫画祭2018」の出演作家が出演。一昨年の韓国、昨年の台湾に続いて、今年はインドネシアとマレーシアの漫画の展示を行い、インドネシアから

スウェタ・カルティカを、マレーシアからジョンスラヤをお招きします。この2カ国はいずれもイスラム教徒(ムスリム)が多く、そのことがこの2カ国の漫画文化に独特の面白さを生んでいるようです。詳しくは次号で紹介しましょう。

「北九州国際漫画祭2018」ではさらに、「北九州国際漫画大賞」の第3回受賞作品・優秀作品の展示と、フランス出身の作家トニー・ヴァレントが日本の少年漫画の強い影響を受けて制作した作品『ラディアン』について展示します。『ラディアン』はフランスで2013年から刊行され、さまざまな言語に訳されて国際的に人気を博しています。日本語版はユーロマンガ社から9巻まで刊行中で、NHK・Eテレで毎週土曜夕方アニメーションも放映中です。フランスの漫画を日本のテレビアニメにするのが初めてのこと。



トニー・ヴァレント『ラディアン』



『ラディアン』第1巻表紙

主人公のセトは「魔法使い」見習いの少年。強大な潜在能力を持つようですが、力をうまく扱えずトラブルばかり。実はこの世界の「魔法」は、突然空から降ってくる巨大な怪物「ネメシス」に由来します。ネメシスに触れると人間は即死するのですが、ごくまれに生き残る者があり、その人間はネメシスに唯一対抗できる力「魔法」を身に付け、同時に「呪い」(角が生えたり、奇妙な持病を抱えたりなど)を背負います。そのため、人々から「感染者」と呼ばれ、忌み嫌われるのです。

物語は、ネメシスを生み出す「巢」を探る冒険の旅に出たセトが、仲間と出会い、成長する過程を追っていきます。絵柄も含め、日本の少年漫画の冒険ファンタジーから強く影響を受けたことがうかがえますが、その一方で、ヨーロッパならではのテイストも、ネメシスに住む土地を破壊され、他の土地へ移っ

た難民たちと、元からの住人たちの間の摩擦や軋轢を描いたエピソードがあります。ネメシス退治にかこつけて、移民の居住区を破壊しようとする役人に、セトと仲間たちは立ち向かうのです。「他者」、つまり自分と異なる者を憎むことの愚かしさは、日本の少年漫画でも描かれてはいますが、『ラディアン』での率直かつ切実な語り口は、あらためて日本の読者の胸を打つことでしょう。

海外の漫画との出会いは、異なる文化・異なる社会に触れることであり、そこから自分がいま暮らす社会を見つめ直すことでもあります。この機会をぜひお見逃しなく！

Information 「北九州国際漫画祭2018」

【開催期間】12月22日(土)~2019年1月20日(日)
【会場】北九州市漫画ミュージアム企画展示室(あるあるCity5F)
【開館時間】午前11時~午後7時(入館は午後6時30分まで)
【休館日】12月31日~2019年1月2日、1月8日・15日
【入館料】一般200円(常設展セット券500円)
※高校生以下無料
※詳しくは北九州市漫画ミュージアムのホームページをご覧ください
<http://www.ktqmm.jp/>
【お問合せ】北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

特集
北九州市漫画ミュージアム
演劇 | 演劇の街は、いま
文芸 | 清張アラカルト
美術 | 美術館へ行こう！
漫画 | 漫画と北九州
Topic | 北九州市立いのちのたび博物館
音楽 | いろはにぴあの

2018
December
12
Vol.68



旧サッポロビール九州工場
国登録有形文化財
(門司区)〈画:西川幸夫〉